

令和元年第2回今帰仁村議会定例会会議録

招 集 年 月 日	令和元年6月13日			
招 集 場 所	今帰仁村議会議場			
開 散 会 日 時 及 び 宣 告	開 議	6月18日 午前10時00分		
	散 会	6月18日 午後4時05分		
出席（応招）議員	議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
	1	島 袋 誠	8	與 那 勝 治
	2	上 原 祐 希	9	山 城 太
			10	與 儀 常 次
	4	座間味 薫	11	嘉 陽 崇
	5	座間味 邦 昭		
	6	吉 田 清 尊		
	7	玉 城 みちよ		
欠席（不応招）議員	3	與那嶺 透		
会 議 録 署 名 議 員	6	吉 田 清 尊	7	玉 城 みちよ
職 務 の た め 議 場 に 出 席 し た も の	事 務 局 長	我那覇 尚 一	書 記	松 田 洋 子
	局 長 補 佐 兼 議 事 係 長	玉 城 民 枝		
地方自治法第121条に より説明のため議場に 出席した者の職氏名	村 長	喜屋武 治 樹	経 済 課 長	久 田 哲 史
	副 村 長	謝 花 良 竹	住 民 課 長	仲 村 美奈子
	教 育 長	玉 城 奎	福祉保健課長	宮 里 政 有
	総 務 課 長	我那覇 隆 文	幼 保 連 携 推 進 室 長	宮 里 晃
	企画財政課長	田 港 朝 津	会 計 管 理 者	金 城 寛 樹
	学校教育課長	桃 原 秀 樹	福祉保健課補佐兼 福祉・児童母子係長	上 原 一 也
	社会教育課長	嘉 陽 健	福祉保健課補佐 兼保健衛生係長	長 田 光 吉
	建 設 課 長 兼 水 道 課 長	嶺 井 雄 二		

令和元年第 2 回今帰仁村議会定例会

議事日程第 3 号

令和元年 6 月 18 日（火曜日）

1. 開 議 午前10時

2. 付議事件及び順序

日程 番号	議案番号	事 件 名	摘 要
1		一般質問	

○ 座間味 薫 議長 ただいまの出席議員は10名です。定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

(開議時刻 午前10時00分)

日程第1.「一般質問」を行います。

順次発言を許します。6番吉田清尊議員の発言を許します。6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 さきに通告した質問事項にのっとり一般質問を行います。

1、北山高校野球部の甲子園への道。甲子園初出場をめざす北山高校野球部は近年、すばらしい活躍をしています。もう一步で甲子園への切符を手にするところまで来ていますが、課題があると思われます。それは打撃力の向上であります。北山高校には打撃力を高めるために必要な新型のピッチングマシンがありません。貴重な練習時間を割いて国頭村に出向き、ピッチングマシンを借りて練習を行っています。北山高校が新型のピッチングマシンで練習できれば、甲子園出場に近づくのではないかと多くの方々が期待を寄せています。北山高校野球部、在校生、保護者、同窓生、関係者は甲子園出場の『夢』が現実になる日を心待ちにしています。今帰仁村で北山高校の新型ピッチングマシン購入費の助成を行う考えがあるでしょうか村長の見解をお伺いします。

2、今帰仁村と沖永良部島の夢の共演を。「今帰仁村と沖永良部島と泊町・知名町の友好都市協定の締結を行う計画があるでしょうか」との先の私の一般質問に、村長は「担当者を決めて実務者レベルの協議を進めていきたい」と答弁されました。協議を行ったのでしょうかお聞きします。600年以上前の怕尼芝北山王の次男世の主・真松千代の時代から続く、今帰仁村と沖永良部島の友好の歴史を後世に伝える必要があると考えております。令和元年の今年中に今帰仁村と和泊町・知名町との友好都市協定を締結する計画でしょうか。今帰仁村政施行111周年の令和元年11月1日に、新しい時代の交流の扉を開く今帰仁村・和泊町・知名町の友好都市協定の締結式典と、3町村の芸能の舞台公演等を世の主の父親、怕尼芝王の居城の世界遺産今帰仁城跡で開催する考え、計画があるでしょうか村長の見解をお伺いします。

3、今帰仁城跡の城壁修復工事の推進を！平成30年に世界遺産今帰仁城跡の主郭東側の城壁が大きく崩落して県内や全国のテレビ、新聞で報道されました。早期に城壁の修復工事を実施するよう先に一般質問を行いました。改めて一般質問を行います。世界遺産今帰仁城跡の主郭東側の崩落した城壁修復工事をいつ、どのように実施する計画でしょうか。着工と完成はいつ頃の予定でしょうか、村長の見解をお伺いします。

4、仲宗根区の道路・排水路整備工事の推進を。旧喜屋武材木店周辺の仲宗根地区の道路と排水路が未整備で、周辺に住む多くの村民と道路を利活用する人々がとても困っています。長い間、道路と排水路の整備工事を待ち望んでいます。1号・2号・3号・4号の道路と1号・2号の排水路整備工事をどのように進める計画でしょうか。着工と完成はいつ頃の予定でしょうか、村長の見解をお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 皆さん、おはようございます。6番吉田清尊議員の質問事項1、北山高校のピッチングマシン購入費助成についてお答えします。

北山高校野球部の活躍については、去る沖縄県高校野球春季大会でのベスト4進出により、甲子園出場

への地域の期待も日増しに大きくなってきています。ピッチングマシンの購入について、本来であれば北山高校70周年記念事業の中で検討されるべき内容ではなかったかと思慮しております。北山高校にも確認しましたが、ピッチングマシンの購入予定は現在のところないとの回答でした。そのような状況もあり、ピッチングマシン購入費への助成については現在考えておりません。

質問事項2、沖永良部島和泊町・知名町との友好都市協定締結についてお答えします。友好都市協定締結について、実務者レベルの協議を行ったかという質問ですが、知名町・和泊町には今後協定締結を前提として、どのように交流事業等が展開できるか、協議していきたい旨お伝えしており、知名町からは実務担当者を決め、和泊町と調整したうえで連絡したいとの回答をいただいております。今帰仁村においても、両町とどのような交流が図れるか、全課にまたがって協議することとしております。次に、今年中に友好都市協定締結を行う計画があるかのご質問ですが、まずは今帰仁村の交流事業展開の考え、知名・和泊両町の考え方も聞かせていただいた上で、三者で具体的な時期について確認していきたいと考えております。友好都市協定締結の催し物、開催会場については、今後の調整ということもあり、具体的にはまだ計画段階にはありませんが、会場については、世界遺産今帰仁城跡が最もふさわしいと考えております。

質問事項4、仲宗根区の道路・排水路整備工事についてお答えします。仲宗根区の道路、排水路整備工事については、平成29年度に設計を完了し、今年度より工事を実施する予定です。工事の完了については、令和3年度を予定しております。

○ 座間味 薫 議長 玉城 奎教育長。

○ 玉城 奎 教育長 おはようございます。それではただいまの6番吉田清尊議員の質問事項3、今帰仁城跡の城壁修復工事の推進についてのご質問にお答えします。

今帰仁城跡の城壁の修復工事につきましては、修復方法を今帰仁城跡調査研究整備委員会において検討します。来年度の完成を予定しております。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 北山高校野球部は、さきの沖縄県高校野球春季大会においてベスト4の活躍をしました。私もその大会を見ていましたけれども、その大会で優勝を果たした興南高校に、本当にもう一歩、もう一打が出れば勝つという状況まで来ておりました。きっとそこで勝ったら優勝になったんじゃないかと、多くの方々が大きな期待を寄せていたところでもあります。それでこの新型ピッチングマシンでありますけれども、今、北山高等学校にあるピッチングマシンは古い型でありまして、それがスピードも十分ではなく、それからボールが定まらないう。ストライクに入ったり、ボールに入ったり、ずれたりするということと、それから変化球はカーブのみであるということで、監督、コーチ兼部長にお聞きしたら、新型ピッチングマシンはほとんど全ての変化球も対応する、ちゃんと球も定まるということでもあります。そういうことで新しいピッチングマシンがあればわざわざ国頭村まで行って時間をかけてやるという必要がないということで済むかと思います。国頭村は、また雨天時にはそこを活用できる方法があるようだけれども、そういうことでこのピッチングマシン造成について、ただいま北山高校校長先生初め北山高校の同窓生、同窓会、それから関係者がピッチングマシンの購入の資金造成をしていこうということで話し合いを持っております。それでその話し合いの結果、資金造成を例えば今お話しされているのは、この企

業や個人にご寄附をお願いするという方向で話し合いをしていこうということを、現在話し合いをしております。きょうもまた協議をしてお聞きしております。そういうことで、もしこの新型ピッチングマシンの資金造成を同窓生、同窓会を中心に、また関係者が取り組んでいくという状況が生まれて、実際に取り組むと、資金造成をしていくという状況になった場合、今帰仁村として助成をしていくお考えがあるでしょうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 6番吉田清尊議員の質問についてご説明申し上げます。

ただいま北山高校の新型のピッチングマシンの購入についてということでございますけれども、北山高校、それから同窓会を中心に今話し合いが持たれているということではございますが、今ですね、この話し合いの最中ということもあってでしょうか、趣意書とか企画書など、細かい詳細のものが役場のほうに届いているわけでもありませんので、今の段階でこれについて意向があるかということでございますが、それは趣意書、企画書とかが提出された段階で判断していきたいと、協議していきたいということでございます。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 総務課長がおっしゃるとおり、まだ趣意書ができていません。それで今協議を重ねるところでありまして、今後趣意書をつくっていくということをきのうもお聞きしております。この寄附金造成の趣意書をつくって、企業、個人を回ると。それから村長にも関係者が要請をしていくということもお聞きしております。そういうことで、こういう環境が寄附金造成の趣意書をつくって動き出す、あるいはまた村長への要請もまたしていくという動きがあった場合に、この資金の一部を助成していくというふうな想定が可能であるのか、村長にお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 6番吉田清尊議員の質問にお答えします。

先ほど総務課長が答弁したとおりですが、趣意書もまだ来ていないし、予算計画も来ていませんので、検討はしておりませんが。先ほど吉田議員が質問しましたように、学校それから同窓会、企業を含めてですね、この目標額を達成することができれば、村からの補助は必要ないということになります。もし村がやるとすれば、この予算というのは一般財源も非常に厳しい中で考えられるのはふるさと納税の活用かと考えられますけれども、まずはやはり早目にこのピッチングマシンが必要であるということ、同窓会、学校、野球部含めて地域の皆さんが趣意書をつくって、予算計画を立てて、できるだけ頑張ってもらいたいと思います。また取り組みようによっては、今、北山高校の野球部に対しては非常に注目も集まっていますので、北山高校の野球部に入りたいために他の地区から北山高校に来たということも、野球部に入ったということも聞いておりますので、まずはやはり関係者が頑張ってもらいたい。具体的に事業計画とかが出た段階で、もし村に要請があれば検討していきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 今後、要請や趣意書が出てくると思います。そういうことで、なるべく目標

額を達成していくということで努力をされることだと思っております。今、村長からもありましたけれども、北山高等学校の野球部が素晴らしいということで、入学を目指すということがあると思います。北山高等学校理数科が、継続が大変厳しい状況になっていると認識しております。それから北山高校そのものも存続に向けて受験生の増加を図っていかないといけないという状況であると思っております。本部高校は本部高校で、学校の存続に向けて給付型奨学金の充実とか、いろいろな形のことに取り組んでいるとお聞きしておりますけれども、そういうことで北山高等学校で野球部が強くなるということは、受験生がふえていくと。ひいては理数科の存続、それからまた北山高校そのものの存続にもつながっていく、大きく貢献することだと認識しております。ただいまありましたけれども、この趣意書、要請が来た場合に、検討していくということがありましたけれども、その場合に幾らかの助成をやっていくということで、お考えいただけるでしょうか、改めてお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時18分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時18分)

喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 6番吉田清尊議員の質問にお答えいたします。

先ほど答弁したとおりであります、北山高等学校は県立高等学校であります。ただやはり今帰仁村にとってはいろいろな現在支援も行っております。キャリア教育、それからアメリカへの短期留学、その他いろいろやっております。そして給付型奨学金も去年からやっております。そういう中で支援はしてまいりますけれども、このピッチングマシンについては、実際にどれだけの金額がかかるのかもまだ見通しがないし、それから先ほど答弁したとおり、関係者が頑張れば集められる金額であれば、やはり村の補助なしで頑張って集めてもらいたいと。どうしても頑張ったけれど、このぐらいは不足だという要請があった段階で検討してまいりたいと思いますので、現段階で助成するということは考えておりません。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 この北山高等学校の野球部が強くなることは、先ほど申し上げましたけれども存続にもつながっていくと。それからミルトン高校との姉妹校、それから夢咲塾と、素晴らしい今帰仁村の協力をいただいて充実した学校になっていくということであります。そういう中で、北山高校の野球部が強くなっていくということは、存続にもつながっていくと思いますけれども、そのあたりについて教育長、野球部の強化が必要だと思いますけれども、あるいはピッチングマシンが必要だと思いますけれども、教育長の北山高校の魅力化の大きな1つ、ミルトン高校もそうですけれども、夢咲塾も含めてですけれども、いかがお考えでしょうかお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 玉城 奎教育長。

○ 玉城 奎 教育長 6番吉田清尊議員のただいまのご質問にお答えしたいと思います。

野球部のピッチングマシンの購入助成のものから来たんですが、まずそれについては先ほどから村長部局のほうからもございますが、趣意書が来た段階で教育委員会としてどのようなことができるのかなというのを、そこで考えるのがスタートだと思います。ただし金銭的な助成というのは、教育委員会の性質としてはなじまないというのはご理解いただけたと思います。それと魅力化事業についてですが、もちろん

北山高校の野球部が活躍してすごく活性化して、それが北山高校の魅力化、活性化につながることは、もちろんつながることだと思います。そのこともそういう北山高校の野球部が強いということで、非常に北山高校活性化しているなということも、他市町村からの話も聞いております。そのあたりも含めて魅力化にはやはり北山高校プロジェクトの1つの事業でありますので、先ほどからミルトン高校であるとか、公営塾であるとか、そのあたりも含めて応援したいと思います。それと野球部に関しましては、私も同窓生の1人としてしっかり応援していきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時23分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時26分)

6 番吉田清尊議員。

○ 6 番 吉田清尊 議員 次に、今帰仁村と沖永良部島の夢の共演をということで質問をいたします。今帰仁村まつりが10月末のところから8月に、実行委員会に変更になったということをお聞きしております。そういうことで村政施行111周年を迎えることとしてありますけれども、ことしの11月1日にもしできれば、そういうことで新しい出発にふさわしい数字でございますので、令和元年ということもありまして季節もいいということで、今帰仁まつりともかぶらないということも含めて、11月1日にいかがでしょうかということをお聞きしております。それと郷土芸能を含めて3町村の舞台をやっていくという方向にできれば、すばらしい式典、それから舞台公演ができるんじゃないかと思っていますけれども、そのあたりいかがでしょうか。考えていく予定でしょうか。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○ 我那覇隆文 総務課長 6 番吉田清尊議員の質問についてご説明いたします。

現在、沖永良部島知名町・和泊町、両方とも企画のほうを担当しております。和泊町とはこの前新聞にも載っていましたが、5月4日に職員交流ということで野球の試合をしたりという中で、ちょっと意見交換をさせていただきました。残念ながらこの日に知名町はご一緒して、来村という形にはならなかったわけなんですけれども、その後に知名町にも連絡を取りまして、和泊町とは実務担当もきちんと決まっていて報告は終わっておりますが、知名町についてはまだ実務担当者が定まっていない状況にあるということで、知名町からは実務担当者を決めて和泊町と協議を行った上で今帰仁村には連絡をします。ということで回答をいただいているような状況がありますが、まだ今帰仁村、和泊町、知名町の三者がそろってお話し合いを持ったということがありませんので、これは先ほどの議員の質問の中では、開催の日時についても今触れておりましたが、この辺も含めてまだ3町村の中では話し合われた経緯がございませんので、この辺、三者がそろって話し合えるときにはやはり協議していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 6 番吉田清尊議員。

○ 6 番 吉田清尊 議員 ぜひ今帰仁村、和泊町、知名町の3町村の担当者、あるいは課長の方々も交えながら、あるいは副村長、副町長も交えながらお話、実務者それから上部の方々も話し合いをしていただきたいと思います。2016年に和泊町を600年余前に統治していました世之主、真松千代の没後600年祭が沖永良部島で行われまして、そのときに現代版組踊「北山の風」が公演をして、大変な好評を得たということで、マスコミ含め沖永良部の方々からも直接お聞きしております。その後私は、これは

2016年11月でしたけれども、翌年の2月に私は直接沖永良部島和泊町をお訪ねして、その公演をした現場ですね、海岸に近いところで公園になっていますけれども、そこを見せていただきました。素晴らしい場所で公演をして、大変な好評をいただいたということをお聞きしております。この和泊町、知名町と友好都市を結ぶということが実現し、あるいはまたもしできれば北山の風の出演もしていただければと思っています。北山の風の関係者にお聞きしましたら、もし出演依頼があった場合は、ぜひダイナミック琉球ということで、中高校生と沖永良部で共演をしたということでもあります。その共演をぜひ世界遺産今帰仁城、怕尼芝王の居城であった城でできればというお話をされています。そういうことで現代版組踊「北山の風」もこれからの協議ですけれども、この舞台公演で検討して、出演をしていくということをお考えしていくような方向も考えていただきたいいかがでしょうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○我那覇隆文 総務課長 ただいまの質問についてですけれども、調印式と言うんですか、式典とかというの、先ほど申し上げましたけれども具体的に何も協議されてはおりませんので、その辺、日時とか内容とか、そういうものもやはり協議する中で明らかになってきたときに出演内容とか、催し物の内容とかというものについてもおのずと出てくるはずですので、そのときに協議させていただくということでございます。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 今のお話からすると、舞台公演はやっていく方向で検討しているというふうに認識してよろしいでしょうか。あるいは舞台公演はなしにするのか、あるいは舞台公演はやっていくことを村として少し考慮に入れているかどうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○我那覇隆文 総務課長 ただいまのご質問についてでございますけれども、先ほど村長の答弁の中にもございましたけれども、開催時期とかそういうものについては三者で協議したことがないということで、決定されていないということではあります。実際、今帰仁村の取り組みとしては、和泊町、知名町と協定を結ぶに当たって、どのような交流ができるのかということで、全課、全庁体制で話し合いを持って、今、意見を集約しているところでございます。そのような中で、今帰仁村としても今、知名町、和泊町が来たときに、今帰仁村の意見はこういう感じです、交流としてこう考えていますよという材料を今準備しているようなところでございますので、今帰仁村としての取り組みは、今の段階ではそういう状況ですけれども、三者の協議の中でまだ何も話し合われたことがないので、まだ調印に関する開催日時とか内容とかというものについては、これからということでございます。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 具体的にまだ十分終えてないというところであるそうですけれども。この3町村で、今帰仁村で、あるいは沖永良部島和泊町ないし知名町で話し合いを持っていくということの、例えば7月にお会いしようというふうな予定は今のところございませんでしょうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○我那覇隆文 総務課長 ただいまの質問についてご説明申し上げます。

7月中にということでございますけれども、先ほど私が申し上げましたのは、知名町のほうから実務担当者を決めて、和泊町と調整の上で今帰仁村には連絡します。ということでありまして、まだ今のところは連絡がない状況でありますというなかで今7月に開催するかということでございますけれども、これについてはまだ未定でございます。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 次に、今帰仁城跡の城壁の修復工事の推進についてお伺いします。この城壁の工事でございますけれども、これについて着工はいつごろ、具体的に何月ごろとかということで、1年なのか、1年半かかるのか、そのあたりの具体的なことについて、詳細についてお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの6番吉田議員の質問について説明いたします。

工事におけるスケジュールについてということで、まず現在、調査測量設計業務を行っております。6月20日に調査整備検討委員会がありまして、それで工法が決定していきます。まだ工法が決定していないという状況です。予定として、計画としては10月以降に工事を発注して、現在のところは完成は来年度までかかる想定であります。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 10月ごろ工事を発注して、令和2年度に完成予定ということでございますけれども、この現場を主郭東側の崩落現場を何回か見てきましたけれども、素人が見ても工事が大変難しい場所だなという気がしています。と言いますのは、崖がすぐそばまで急に迫っている場所で、石積みが大変難しい場所じゃないかと思っています。そのあたりについて、もう予算もついて、着工のめどもついていますけれども、ぜひ慎重に工事をして、これを丁寧に、私は個人的には、もし完成、完工が若干おくれるにしても、丁寧にやって、これがまた繰り返し崩落しないように、慎重な工事の施工を目指すべきだと考えていますけれども、そのあたり工事の安全対策、安心対策、それから工事関係者の安全対策もありますけれども、また繰り返し崩落しない対策も含めて、どのようにお話しているのか、あるいは取り組んでいくのか、設計業者とお話しているのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について説明いたします。

工事の安全対策、そして施工方法についてだと思います。まず安全対策としては、労働基準法もありますので、工法にあった安全対策を施していきます。施工方法については、現在調査整備委員会に諮って決定していきますので、今の段階ではどういう工法ということは公表はできないのですが、こちらに関しては検討委員会の意見を尊重して、工法については対応していきます。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 整備委員会が、専門家が入って協議するということになると思いますけれども、くれぐれも大変厳しい石積みになっていくと想定されますので、ぜひ整備委員会の方々、あるいは設計管理にあたる事業者ですね、業者の方々、あるいは施工にあたる業者の方々と十分綿密な協議を重ね、工程会議を重ねて、これが安全に完成、完工に向かうように努めていただきたいと思います。改めて

ですね、この設計業者、管理業者、それから整備委員会、今後決まるであろう施工業者含めて、そういう工程会議も綿密にやって安全安心対策をきちっとやっていくということについて、改めて思いをお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問についてですが、まず工法に関しては城跡調査研究整備委員会で決定していきます。そして安全対策については、まずは施工者の安全第一を重視して、作業がしっかり行えるように対策していきます。このことに関してはですね、工事の受注者が工事施工計画書というものを出していきますので、その中で安全管理というものをどうしていくのかというのがはっきり明記されます。そして施工監理も委託業務でつけますので、その辺はしっかり書類が出た段階で確認して、現場等もしっかり確認して施工がなされるか、施工される前に確認して施工させていきます。工程会議等についても、定期的に行って進捗状況等を確認して、工事の遂行を管理していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 しっかり取り組んでいただきたいと思います。それでこの平郎門に向かって左側の崩落の後、まさか主郭東側の城壁が崩落するというのは、予想はどなたもしてなかったんじゃないかと思っています。今後、今帰仁城跡ですね、全体を見て回って、この崩落の危険な箇所が、可能性があるところがあるのかどうか。そうであれば、早目に常に点検しておけば大きな崩落にならないで済む方法ももしかしたらあるかもしれませんけれども、そのあたりの点検ですね、そういうのを行っているのか。あるいは定期的に行っているのかお伺いします。そういう場所も、崩落する可能性がありそうな場所もあるのか、今の時点で確認した場所があるのかどうかお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問に対して説明します。

危険箇所の確認をしているかということなのですが、こちらは定期的に職員のほうで確認をしております。幾つか壊れそうな場所はあるということではありますが、こちら現況の状況ですね、壊れそうであるということで、触れる代物ではないので、壊れないと災害等補助事業により復旧、事務手続きを踏みながら復元していくものです。この辺を危険箇所については把握しながら、観光客等もおりますので、人災が起らないように対処している状況です。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前10時49分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前10時49分)

6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 崩落の可能性があるところがあるようでありますけれども、ぜひその点検をきめ細かくやって、それを今後対応策も含めて、あるいは壊れた際の速やかな事業への結びつきも含めてやっていただきたいと思います。この点検業務については、係でやっているのか、あるいは課長も含めてたまに見るといえることがあるのか。そのあたりを今後継続して点検していくかどうかについて、改めてお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について説明いたします。

危険箇所の点検についてなんですが、文化財係のほうで定期的に点検しています。大雨等があった後です、そのときは随時ということで、私のほうも2度ほど足を運んだことがあります、この辺はできる限り報告を受けながら現場確認していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 続きまして仲宗根区の道路排水路整備工事の推進についてお伺いします。この道路1号・2号・3号・4号ですね、そこのほうは舗装だけなのか、舗装と排水路の両方ということなのかということをお伺いします。それからその1号・2号ですね、排水路を含めて、ここの場所がよくわからないんですけども、この場所の資料があれば提供いただきたいんですけども。この何本もあるものですから、課長、何かその場所を明示した資料はございませんか。もしあればそれをいただきたいと思います。この場所のですね、それぞれの1号・2号・3号・4号の道路と、1号・2号の距離ですね、それについてお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午前10時52分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午前10時53分)

嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 6番吉田清尊議員の質問に対して説明します。

舗装だけなのか、排水路もつくのかという質問でございますが、排水路はつきます。両側のところもあるし、片側というところもあります。1号排水、2号排水という質問がありましたが、1号排水・2号排水は元喜屋武材木店の向かいの排水路をボックスカルバートでふたをします。ここも道路として使う予定でございます。距離としては、1号道路が約95m、1号道路に関しましては元喜屋武材木店の前から国道までと、スナック愛の通りですね。2号道路が、な一は一屋食堂からあつちは元の石川木工所のところですね。3号道路が、今アパートが建っていると思うんですが、昔田港広場というところですかね。それから大城学先生の玄関の入り口のほうまでが3号道路になって、これはもう100m近くですね。1号、3号につきましては、担当がわかりやすいようにつけておりますので、発注する工事名に関しては1号、2号では発注しないかと思いますが、この辺はご了承いただきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 この4号の距離について、今お答えがなかったと思いますが、4号の距離と排水路の1号、2号の距離をお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。

(休憩時刻 午前10時55分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午前10時55分)

嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質問についてご説明いたします。

図面に4号は載っていないのかなと思っておりますが、私の間違いでしょうか。道路としては3号までになっています。排水路は4号排水桝とかいろいろありますけれども、私の図面ではちょっと4号がないんですが、距離がお答えできません。以上です。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 この道路の1号、2号、3号ですけれども、これは片側排水なのか、両側排水なのか、あるいはどちらかが両側なのかですね、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 片側排水につきましては1号、2号ですね、3号だけが両側排水になります。3号は先ほど言ったように大城先生の家の方までが両側排水になって、後は片側排水になります。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 この排水路、ボックスカルバートでということでありましたけれど、排水路1号、2号ですね、これは両方とも道路と兼用の排水路になる予定でしょうか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質問についてご説明いたします。

1号排水、2号排水ですが、小さい橋があるかと思いますが、とり好の手前にですね。この橋から今排水が国道に向かって流れておりますが、前にトイレがあったところと言っていいんでしょうか、今はトイレはないんですが、そこから国道まで排水が通っております。元トイレのあったところまでをボックスカルバートで、このまま道路として、国道505号まで行けるように。今ここはそのままの排水になっていて、そこをボックスカルバートでこのまま道路として使う予定で、下流のほうはそのまま排水で利用いたします。

○ 座間味 薫 議長 6番吉田清尊議員。

○ 6番 吉田清尊 議員 要するに1号はボックスカルバートで道路にするけれども、2号は排水路用途に限るという理解でよろしいでしょうか。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 1号、2号がボックスカルバートになります。以上です。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午前10時58分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時10分)

次に、11番嘉陽 崇議員の発言を許します。11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 さきに通告した件について、質問いたします。

質問事項1、名護市とまたがる県道並びに国道の整備要請について。質問要旨(1)県道247号線(古宇利大橋手前)の電柱の地中化について、名護市と連携をとりながら要請を行うことができないか。(2)国道505号名護市呉我から湧川に向けての区間は歩道がなく、歩行者がいるときに大変危険を感じるという村民からの意見がある。また草が車道へ侵食している箇所もあり、歩行者や車両の通行にも大きな影響を与えている。そこで、名護市と連携をとり、沖縄県に歩道設置要請や道路整備要請を行うことができないか。

質問事項2、村民に親しまれる道路の愛称設定について。(1)村内の道路の愛称を募集し、地域の知名度アップへつなげていくことはできないか。村民から意見があり、県道248号線(天底ローソン入り口から名護市我部までの区間を名護市・県と連携をとりながら)を令和通りと愛称設定することができない

か。以上、伺います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 11番嘉陽 崇議員の質問事項1、名護市とまたがる県道並びに国道の整備要請についてお答えします。

質問要旨（1）県道247号線（古宇利大橋手前）の電柱の地中化については、県道247号線（古宇利大橋手前）は、沖縄県の管理道路となっております。今後は、名護市の担当部署と調整を行い、沖縄県北部土木事務所に要請を行っていききたいと思います。

質問要旨（2）国道505号名護市呉我から湧川に向けての区間の要請について、国道505号については、沖縄県の管理道路となっております。呉我（名護市）、湧川（今帰仁村）とまたがることから、名護市の担当部署と調整を行い、沖縄県北部土木事務所に要請を行っていききたいと思います。

質問事項2、村民に親しまれる道路の愛称設定についてお答えします。県道248号線は、沖縄県の管理道路となっております。現在の路線名が変更できるのか、また愛称設定が可能なのかを名護市及び沖縄県北部土木事務所と調整を行っていききたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 皆さんのほうに写真が配られていると思いますが、写真のとおり電柱が立っております。屋我地から古宇利大橋へ向かう直線、下りになっていて、橋と古宇利が一直線に見える絶景の場所があります。古宇利島へ初めて向かう観光客にとっては、まさに楽園へ向かう気持ちだと思います。古宇利へ向かうたびに、そこで車をとめて写真を撮っている人を見かけます。そこに電柱があり、せっかくの今帰仁村の観光イメージ写真などにも利用できる風景に、水を差しているように感じます。海洋博に次ぐ北部の観光地であるが、この電柱が景観を損なわせているため観光地の魅力化づくりを行うのは必要であるとするが、村長の答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 11番嘉陽 崇議員の質問に対してお答えします。

観光に関して、写真を見てのとおり電柱が多いということは重々承知しております。質問にありました地中化問題は、村長の答弁にもありましたように管理は沖縄県、所管というか名護市の地域に入っておりますので、名護市とまた沖縄土木事務所と調整を行っていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 土木事務所と要請を行っていくということですが、現在地中化を実際に景観保全のために進めている場所があるか、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質問に説明いたします。

今帰仁村としましては城跡線、城跡の通りですね、県道ではなくて中のほうを今申請して、常時協議会で申請をしている状況であります。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 地中化を進めている場所があるということで、決して奇想天外な発想ではな

と思います。観光地の魅力化づくりが必要であると思うので、ぜひとも進めていただきたいと思います。この地中化に伴う予算関係について、どういった予算があるのか。またどこが負担をするのか。今帰仁村からも予算を投入する必要があるのかですね、答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質問についてご説明いたします。

いろいろ事業はありますけれども、沖縄電力が申請した場合は申請者が持つと。結構、1 km 1 億円という試算も出ております。この辺を調整しながら、補助事業がないと厳しい状況にありますので、この辺はまた事業を探りながら申請していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 お互いの事業、一括交付金とかですね、いろいろ財源が探せないかどうかですね、探すのも大事であると思います。これは名護市にまたがっておりますので、名護市側ともしっかりと調整を行わなければいけないものだと思いますが、名護市がこれは私たちは必要ではありません、必要だと感じませんと言ったら非常に厄介だと思っております。そういった場合でも、今帰仁村側から単独に要請していく考えはないか伺います。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいま議員がおっしゃるように、名護市が断ったらということですが、管理は沖縄県になりますので、県道247号線ですね、最終的には沖縄県のほうが判断は下すのかなと思いますので、この辺はまた名護市と調整して、市、村が要請を行えば沖縄県も考えてくれるのではないのかと思っております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 この地中化は、古宇利の古宇利架橋の景観をよくするためにやるわけでありますから、名護市を無視してはできないと考えます。一番恩恵を受けるのは古宇利島であり、今帰仁村であると考えます。名護市にとっても帰りがけに観光客が名護市を通っていくので、名護市側にとっても観光面でメリットがあると考えます。そこで副村長にお聞きしますが、副村長は羽地支所長として、赴任時には屋我地島も担当区域内であったと思いますが、名護市側にもメリットがあるということを十分に説明していただき、連携をしていけるものと期待をしております。名護市側とも積極的に連携をとり、電柱地中化を進めていく考えはないか伺います。

○ 座間味 薫 議長 謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長 11番嘉陽 崇議員の質問にお答えします。

質問のとおり3月までは名護市役所の職員でありました。その中で、羽地内海をはさんで今帰仁、屋我地、羽地は一つということも言っていたので、そこら辺は今でもネットワークはあるので、今帰仁村の副村長として今後名護市役所のほうにも積極的に声かけをしていきます。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 今、副村長からネットワークはある、積極的に声かけをしていくということの答弁をいただきました。電柱地中化が早期に実現して、観光地の魅力化づくりとして村外へのピーアー

ルにつながることを期待して次に移りたいと思います。

続きまして国道505号の件についてであります、この区間が沖縄県全体の道路整備計画の中に入っているのか伺います。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質問についてご説明いたします。

これは去年ですか、今こちらをやんばるロードコースということで、要望として、名護市のほうからこの自転車道を含めて申請した経緯があります。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 ただいまやんばるロードを名護市が申請したと、自転車道を申請したとありますが、歩道について計画があるのか伺います。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 この詳細につきましては、ちょっと確認しておりませんが、自転車道を含めて排水、歩道も入っているかなと思っております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 この区間は、雑草が道路へ浸食しているのが確認できます。歩行者がいると大変危険を感じます。歩道がなく、歩行者がいるときに大変危険を感じるという村民からの意見もあります。年に数回草刈りを行っているようですが、それも長くはもたず、雑草が道路に侵食し中央分離帯を越えなければならない場合があり、このように歩道がなく雑草が侵食している状況に対して、村長はどう考えるか伺います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 11番嘉陽 崇議員の質問に対してお答えします。

今の国道の雑草の件ですが、管理は県の管理になっておりますけれども、今泊から名護境界までですね、そういうところはたびたび村民からも指摘があります。その都度、担当課から県の道路維持課のほうには電話等で要請をしております。今、西側のほうから、本部のほうから大体来るんですが、それが済めば今帰仁村の除草にもなるかと思しますので、今後とも県の管理とは言えどもやはり今帰仁村を通して来る観光客含めて、安全確保のために都度都度要請はしていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 今帰仁村から被害者、加害者を出さないためにも、交通安全対策の観点からも整備要請は積極的に行うべきであると考えます。道路は名護市であるので、名護市側が要請を行う必要があったりもすると思います。利用者の大部分は、先ほど村長が答弁されたように今帰仁村民そして観光客であります。名護市を通る県道となっているが、むしろ名護市民より今帰仁村民が多く利用している状況です。今帰仁村とまたがるので両方からの要請、連携をとってやったほうがよいと考えますが、副村長へ、名護市と連携をとりながら要請を行うことができないか伺います。

○ 座間味 薫 議長 謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長 その呉我から湧川にかけては、3年前の北部振興事業の中に要請書は出ていますと

いうのは確認をしています。そのとき私は担当部署にはいなかったんですけども、そこでもやはり今帰仁村との連携が必要という文言がたしかあったと思います。そこは名護市役所側の担当部署のほうにもその旨をこちらから伝えて、そこは名護市のほうも重々その件は前から議論されていて、うまく今帰仁村と連携をとれば早期の実現も可能なのかなと思います。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午前11時27分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午前11時27分)

謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長 今帰仁村の部署もあるので、そこは私ができることがあるのであれば、村の担当課とそのつなぎと言いますか、そこら辺を副村長の立場としてきちんと連携、つなぎをしていきます。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 ただいま副村長から答弁をいただきました。つなぎということで、今帰仁村の部署とつなぎということで、副村長の力をぜひかりて連携できると期待しております。次の質問に移ります。

続きまして村民に親しまれる愛称設定についてであります。これまで今帰仁村で道路や施設等の愛称募集を行ったことがあるか伺います。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質問について説明いたします。

道路については、募集したことはありません。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 道路についてはないということですが、5月1日より新元号令和がスタートしました。なぜ令和通りの愛称かということ、令和は元号制度始まってから248番目の元号ということで、ニュースで大きく報じられていました。観光のイメージづくりとして、県道248号線と248番目の元号の数字つながりで、インパクトのある令和通りと愛称設定することを提案しますが、村の観光イメージづくりとして、全国へピーアールしていく考えがないか伺います。

○ 座間味 薫 議長 久田哲史経済課長。

○ 久田哲史 経済課長 ただいまの質問について説明いたします。

村長の答弁にもございましたとおり、まずは名護市と調整しながら土木事務所のほうへ要請していくことであるので、その辺を踏まえて、これが全国にピーアールするということであるのであれば、そのあたりも踏まえて調整していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 沖縄県には、那覇市のほうで国際通り、浦添市でパイプライン通り、沖縄市にはくすの木通りと、探すと県内にも結構愛称で呼んでいる通りがあります。ほかにも愛称を募集して、村民のアイデアをもらいながら愛称を設定し、観光に生かし地域にも愛され、二重三重の効果が期待できると思います。南城市の道路愛称募集を少し紹介したいと思います。南城市では、現在8カ所ですね、8道路を愛称設定、募集しております。これはインターネットからとったものでありますが、道路愛称募集

用紙というのもありまして、道路の愛称ですね、そして道路の愛称の理由の説明ですね、そういったものも募集要項に載っております。そしてこの名前がもしも却下された場合はそういった理由等も含めて返すように行っているようであります。愛称を募集することで村民が地域に関心を持つということは、非常に大切であると思います。観光面からも今帰仁村の発展につながるものだと考えます。ぜひ今帰仁村でも南城市を例にこのような方法で募集ができないか伺います。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質問についてご説明いたします。

村の道路に関しましては村の管理なので可能かなと考えております。議員から質問がありますように、県道248号線については県道なので県のほうの権限、管轄になります。この辺はまた調整していきたいんですけれども、先ほど申しましたように村に関しては可能性はあるのかなというふうに考えております。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 県のほうと調整が必要ということで理解しておりますが、レンタカーなどはカーナビがあったり、また本ではゼンリンとかがあったり、また道路標識設置とかいろいろなふうにピーアールする方法は考えられます。こういったことも含めて県とぜひ調整を行っていただきたいと思います。令和通りということであるんですが、政府の発表によると現存する日本最古の歌集、万葉集の梅の花の歌32首の序文から引用したとありました。梅の花にちなんだ元号となったことを受け、梅農家からは喜びの声が挙がったと日本農業新聞で報じられておりました。今帰仁村ではグスクまつりが開催され、観光客が多く訪れます。令和の梅にちなんで街路樹に梅を植栽したり、また地域おこしとして梅まつりを開催しようと現在湧川区が梅の植栽を区で行っているところでもあります。これを機に梅の植栽がいろいろな地域に広がっていくことも考えられます。今帰仁村で梅まつりを開催することができるかもしれない、こういったことを考え全国へ向けて観光イメージづくりとして、そういうこともできる可能性もあります。そこで令和通りに梅を植えることも県へ要請することができないか、村民で知恵を出し合って、今帰仁村を全国へピーアールする絶好の機会だと考えますが、村長の答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 11番嘉陽 崇議員の質問にお答えします。

非常に具体的で、いい提案だと理解しております。県道248号線がなぜ令和通りかというのを私、よく理解していなかったんですが、先ほど質問にあったように、ちょうど元号制度がスタートして248番目ですか、そういうことで理解いたしました。先ほど課長からも答弁がありましたように、この道路は県道になっております。そして名護市とまたがっておりますので、早目に県、名護市にも働きかけて、県のほうで愛称をつけてもいいということ、あるいは名護市の了解も得られるのであれば、この名称は村のほうでまた募集していいのか含めてですね、前向きに県や名護市にも働きかけていきたいと思います。もし村のほうで名称をつけてもいいということであれば、先ほど提案のありました梅の植栽についても梅がいいのか、村花はハイビスカスですので、村花のハイビスカス、あるいはまた桜も含めて県や名護市の意見も聞きながら、まず先に名称がつけられるかということのを要請していきたいと思います。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 名称がもらえるのであれば、ぜひ行っていきたいという前向きな答弁をいただきました。この地域もですね、名護市とまたがっております、ぜひ副村長の力をかりながら、名護市と連携をとりながら提案できないかと考えますが、副村長の答弁を求めます。

○ 座間味 薫 議長 謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長 お答えします。

そこは先ほどから答弁のある県道ということで、その中で名護市と連携が必要になってくると思いますので、そこも含めて担当課と、村の担当と名護市の担当と協議ができるような環境を整えていきます。

○ 座間味 薫 議長 11番嘉陽 崇議員。

○ 11番 嘉陽 崇 議員 副村長からも大変前向きな答弁をいただきました。村民から意見があり、大変いいことだと思います。最後にですね、ぜひ日本国内で初の令和通り実現に向けて頑張ってくださいと思います。東京のほうでも令和通りの愛称が実現するかということで、東京臨海部の住民から五輪のレガシーとしてもということで、東京都心と臨海地域を結ぶ環状2号の一部区間に新元号令和にちなんだ愛称をつけてほしいという声が挙がっているそうです。しかし248という数字が入っているのは、この今帰仁村天底を通る区間でありますので、この区間こそふさわしいと考えます。早速実現できるように検討してってください。終わります。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。

(休憩時刻 午前11時39分)

午

後

○ 座間味 薫 議長 再開します。

(再開時刻 午後1時30分)

次に、7番玉城みちよ議員の発言を許します。7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 皆さん、こんにちは。議席番号7番玉城みちよ、議長の許可をいただきましたので令和元年初の定例会一般質問をさせていただきます。しっかりと村当局の前向きな答弁でゆたしくおつき合ってください。

さて気候がまだまだ不安定な季節、梅雨時期の大雨による災害も発生しやすく、日常生活にもさまざまな影響を与えています。先日の大雨による天底区の農道におきまして、道路わきの側溝が詰まり、周辺農家のサトウキビ畑が田んぼ化としておりましたが、担当課の迅速な対応により災害は免れ住民より感謝の声が寄せられました。それから、これから本格的な夏に向け体調面も含め、我々議員はもちろんのこと村長を初め村職員の皆さんにおかれましては万全な健康管理でともに努めていきたいと思っています。また4月より就任されました謝花副村長におかれましては、これまでの職場経験を生かし、今後今帰仁村が直面する課題を的確に把握・分析し、柔軟な発想、企画、提案力を持ち行政のサブリーダーとして迅速な課題解決及び住民サービスに努め、あわせて近隣市町村の連携強化にも努めていただきたいと思います。それでは令和元年6月定例議会に当たり、さきに通告いたしました2点について質問いたします。

質問事項1、子どもの貧困対策事業の成果と課題について。質問要旨、本年4月に県が実施した第10回県民意識調査によると沖縄県が重点的に取り組むべき施策として、過去3回の調査で1位だった「米軍基地問題の解決」の26%を超え、「子どもの貧困対策の推進」が全体の42%と最多でありました。これが今

帰仁村民も含む、県民の本音だと思います。そこで以下をお伺いします。

(1) 多くの県民や村民が一番に求めている「子どもの貧困対策の推進」について村の見解をお伺いします。(2) 本村が平成30年度に実施した子ども貧困対策事業の成果と課題についてお伺いします。(3) 収入の算定基礎が見直され、これまで対象だった児童生徒が除外される見込みの平成31年(令和元年度)就学援助制度ですが、申請状況、昨年度との対比等をお伺いします。

質問事項2、安心安全な通学路確保に向けた環境整備について。質問要旨、保育園児の死傷事故が発生した大津市の交通事故においては、園児を守る施設側やご家族の心情を思うと本当につらく、また決して他人事ではないと思います。歩行者を守るガードレールやポール等の設置がなかったことも大惨事となった要因の一つであると考えます。本村の通学路の安全対策も再確認する必要がある、その現状をお伺います。

(1) 天底小学校正門前にて反対車線道路からの児童の横断が頻繁に見受けられ、危険な状況であると考えるが早急な横断歩道等の安全対策についてお伺いします。(2) 天底小学校の登下校時の通学路として利用されている県道248号線、村道湧川運天線の交差点への定周期信号の早期設置・事故防止について、今後どのような安全対策強化を図っていくのかお伺いします。(3) 働き盛りの保護者にかわり、通学路の見守りとして「地域の力が重なる安心安全な通学路見守り隊」を村民へ広く呼びかけ組織化する考えはないかお伺いします。

以上、二次質問は議席から行います。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 7番玉城みちよ議員の質問にお答えします。

質問事項1、子どもの貧困対策事業の成果と課題についてお答えします。質問要旨(1)「子どもの貧困対策の推進」については、沖縄県の「子どもの貧困対策推進基金」等を活用し、子どもの貧困問題に迅速に対応がとれるよう支援員を配置し、対象児童や対象世帯への支援に取り組んでおります。今後とも関係機関との連携や情報共有を図りながら支援に努めてまいります。

質問要旨(2)本村が、平成30年度実施した子どもの貧困対策事業の成果と課題については、子ども応援支援員を1人配置し、対象世帯への支援に取り組んでまいりました。主な取り組みとしましては、個別訪問、来庁相談、電話相談などで、就学援助制度の案内・手続支援、医療保険未納世帯への納付勧奨や減免制度の手続支援、沖縄県北部福祉事務所など関係機関と連携を図り、貧困世帯の支援を行いました。成果としては、貧困世帯の実態の把握ができ、関係機関のサービス利用や経済的支援の申請につなげることができたことなどが挙げられます。今後は、対象世帯の増加、相談内容の複雑・多様化が予想されるため、関係機関との連携が円滑に図れるよう体制のさらなる強化を図ってまいります。

質問事項2、安心安全な通学路確保に向けた環境整備についてお答えします。質問要旨(2)の県道248号線、村道湧川運天線への定周期信号の早期設置・事故防止、今後の安全対策強化については、県道248号線と村道湧川運天線の交わる交差点における信号機設置については、平成30年4月27日に伊是名村長、伊平屋村長との三者連名で、本部警察署並びに公安委員会へ要請を行った経緯があります。ことし3月には、本部警察署より意見照会があり、その内容として各警察署管内の信号機につき総数をふやすこと

なく、各警察署の判断により既存の信号機を廃止するかわりに地域住民等からの要望の多い交差点に新たな信号機を設置することについてというものでした。各行政区長へのアンケートの結果、既設の信号機を廃止し、その分を新規設置に充てることは、既設信号機の設置の経緯、交通事故防止の観点から地域の合意を得ることは難しいとの結論に至ったとの回答があり、今後も新設を要望していく方針とのことであります。観光客等の増加に伴う交通量増加もあり、登下校時の児童・生徒の安全確保、また地域住民の安全確保の観点から、引き続き関係機関への要請を行ってまいります。

○ 座間味 薫 議長 玉城 奎教育長。

○ 玉城 奎 教育長 7番玉城みちよ議員の質問事項1、子どもの貧困対策事業の成果と課題についてお答えします。

質問要旨（3）就学援助制度の申請状況、昨年度との対比等については、平成30年度の就学援助児童生徒の申請者数は238名、うち受給者は176名。今年度の6月10日現在の申請者数は207名となっており、課税状況を確認後、7月初旬に受給者が決定します。収入の算定基礎の見直しについては、今後検討していく予定でございます。

続きまして質問事項2、安心安全な通学路確保に向けた環境整備についてお答えします。質問要旨（1）天底小学校正門前における児童の安全対策についてですが、横断歩道の設置については、本部警察署が設置・管理することとなっております。設置要望については、小学校と調整を行い村道路管理部局及び本部警察署と協議してまいります。

同じく質問事項2、質問要旨（3）通学路の「見守り隊」を呼びかけ組織化する考えについては、前年度の今帰仁村老人クラブ大会で、幼児児童生徒の登校時の見守りの協力を要請したところ、各字単位で取り組んではどうかとの意見をいただきました。本年度中に、区長会で趣旨説明を行い地域でどのような取り組みができるのか、話し合いを持ちたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 では子どもの貧困対策事業から二次質問をさせていただきます。

村の見解や事業成果、就学援助の申請状況については理解いたしました。しかし行政に頼るのも申しわけないが自分ひとりでは限界。働くほど税金が高くなり家計に余裕がない、孤独な子育てが減ると虐待も減るなどの保護者の切実な回答を見出しに、先週末の新聞報道において県内困窮世帯の状況が掲載されました。もう執行部の皆さんも見られたかと思います。親から子どもへの貧困の連鎖を断ち切ることを目指し、子どもの貧困対策の推進に関する法律が制定され、対策の柱は教育支援、生活支援、保護者の就労支援や経済的支援と認識しているのですが、本村の貧困世帯と考える定義や基準、実態などはどのような方法で把握されているのかお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの7番玉城みちよ議員の質問についてご説明いたします。

最近、新聞等でもありましたことについては、こちらのほうも把握しており、課内でも共有しているところであります。親への相談等に乗ることによって、村が支援をしつなげ、子供の健やかな成長につながるというところでは、迅速に今後に対応していこうと思っております。その中で、実態ということで貧困

の世帯ということになりますけれども、具体的にはリスト等、そういうところではなくて、先ほどありましたようにまずは役場にさまざまな相談に来られます。その相談に応じながら、その実態に合った、相談に合ったところで、例えば母子父子関係であれば「ゆいはあと」ですとか、後は当然親の就労関係もございいます。そういう場合は「パーソナルサポートセンター」、お金関係も出てきますので、そこら辺あたりはきめ細かくその複雑な相談状況もございいますけれども、そういうところでこちらのほうで把握して、各課連携しながら相談に乗っている状況でございいます。把握している状況でございいます。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 貧困対策と考える定義や基準、実態把握については理解いたしました。では実態調査の相談内容の結果、現在本村の子供の何名が貧困状態にあると考えられるのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について、ご説明いたします。

本村に何名の方がいますかということなんですけれども、こちらについては先ほどお話ししました相談等、実態に合わせてその世帯に何名いらっしゃるかというところでございます。ですので、具体的に何名ということでは、今ちょっとお答えする資料もございませんし、個人情報的なデリケートな部分もありますので、後でまたそういうことの資料であればこちらの資料の提供とさせていただければと思っております。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 貧困状態の調査結果については、理解いたしました。では貧困世帯や経済的に厳しい状況下にある児童らは、複雑な家庭環境の中、母子や父子の片親世帯の子供たちが多く含まれるのではないかと思います、その際に学童を利用される場合の支援は行われているのかお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について説明します。

今のお話の中にありました児童が兄弟でいる、経済的な負担が重くというところでもありますけれども、こちらのほうの把握等は、ちょっとこちらのほうでは、学童に対する運営主体側への補助金というのはあるんですが、その中に貧困の方がいて、その方をまた費用を充てるところでの制度的なものは今のところございません。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後1時48分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後1時55分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 すみません、先ほどありました定義のほうですね、貧困世帯の定義のほうをちょっとこちらのほうで、今一般的な定義のほうでお話していきたいと思います。貧困単位の収入は、一般的に1人世帯で127万円、2人世帯で180万円、4人世帯で254万円となっております。それから子どもの貧困対策支援対象といたしましては、沖縄子どもの貧困緊急対策事業費補助金実施要綱の4にございまして、失礼いたしました。本事業の対象となる者は、おおむね18歳以下の者とする。また支援員の支援の対象となる子どもは生活困窮者自立支援法で定める生活困窮者、生活保護受給世帯の子どもを含む。または学校教育法に基づく就学援助制度の対象者。生活保護世帯の子供を含むとあります。先ほどの議員か

らの説明については、今お話ししたところでございます。それからもう1つございました平成30年度に支援された人数ではなくて、支援された具体的な世帯数といたしましては94世帯でございます。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 定義については理解いたしました。先ほど学童の利用の際の支援がないという答弁でしたが、学童の利用に関しては経済的に厳しい状況下にある世帯には、児童が兄弟で存在しているなど、経済的な負担が重くのしかかるのではないかと考えますが、近隣市町村で学童を利用する際に助成に取り組まれている市町村があれば伺います。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質問についてご説明申し上げます。

平成29年度のデータということになりますが、近隣で言いますと名護市、国頭村、恩納村、金武町が補助を行っております。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 近隣市町村の学童支援については理解いたしました。先ほどの答弁にありました94世帯が貧困状態にあると考えられるという答弁でしたが、ぜひ今後は村内の貧困世帯、経済的に厳しい状況下の世帯から、学童を利用される家庭へ支援を検討していただければと思います。もちろん村が、学童の運営に補助金を出しているのも存じておりますが、ぜひ父子世帯、母子世帯からすると、どうしても仕事をされている保護者がほとんどです。子供たちを学童に預け、安心して働けるような環境を整えていただきたいと思います。貧困世帯や経済的に厳しい状況の世帯の生徒の高校への進学率について、把握していれば伺います。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について説明いたします。

今の支援につきましては、相談を受けながら、その中で支援していくというところであります。こちらのほうで数値的なところは把握していないところでございます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後2時02分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後2時03分)

桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質問についてご説明申し上げます。

貧困というか、経済的に困りのあるという理由で進学を諦めたという報告なり情報なりということは、伺っておりません。またそういうことにならないための措置として、奨学金等のご紹介とか、その辺は行っているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 高校への進学の報告については理解しました。他の自治体の調査では、児童生徒の中には一日の食事が給食だけと答える子供もいらっしやと聞いております。村内においてはこども食堂、または地域食堂を展開している字があると聞いておりますが、その際の運営や行政の支援について伺います。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問についてご説明いたします。

今現在、5団体の実績を見てみますと社会福祉協議会のほうで子ども料理教室を開催してございます。あと字のほうでは玉城区、それから今泊、上運天、天底のほうで地域食堂ということで取り組んでいる事例があります。村といたしまして、こちらに補助と、助成金という、今助成金を出しているところではございませんが、やはりこれから公民館等を拠点とした、地域力が、波及していきながら、地域でのつながりが大事だと思っておりますので、そこら辺は地域力の波及効果によるものを主として考えているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 地域食堂の展開や運営については理解いたしました。貧困の連鎖を断ち切るためにも、子供たちへしっかりとした食事を与え、高校進学を果たし将来の選択肢を広げることも大事かと感じます。教育支援において、中学生対象の無料塾などの提供が必要と考えるが支援制度について伺います。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問について説明します。

本村のほうで、子ども貧困対策事業の成果といたしましては、子供の無料塾、経済的な理由で行けないというところも含めまして、子育て総合支援モデル事業の無料塾を展開しております。じんぶん塾でございますけれども、沖縄県と本部町と今帰仁村が連携をして、県の委託を受けた事業を展開しております。こちらにつきましては、子供の学力向上も含めてはございますけれども、親御さんも来ますので、そちらに対する個別の相談もまた受けながら、本部町のハーソー公園の一部を借りて、今事業の展開をしているところでございます。具体的に小学生で5名、それから中学生で11名であります。今回、その中で高校のほうは無事にみんな合格したというところで、成果の方も上がっているというところでございます。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 無料塾の支援については、理解いたしました。本人の意志とは反対に生活保護世帯や経済的に苦しい世帯の中学生には、高校進学を諦めるという選択がないよう、先ほどの答弁の教育支援の広報も丁寧に行っていただきたいと思います。

では先週5番、同僚議員の質問にもありましたが、本村が独自の予算で取り組んでいる村内全ての中学3年生までの無料の歯科治療制度ですが、子育て世代の保護者からも大変感謝され、評価の高い事業と認識しています。その事業の過去3年間の推移をお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問についてご説明いたします。

3年間の小中学生の通院歯科診療の実績がでございます。平成28年度で延べ助成件数495件、約120万円、平成29年度延べ助成件数で608件、約130万円。平成30年度、延べ助成件数644件、約120万円でございます。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 事業の過去3年間の推移については理解いたしました。では特に経済的に

苦しい世帯や貧困世帯に特化した医療費の支援体制も行っているのか、お伺いします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 2 時10分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 2 時12分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 ただいまの質問についてご説明いたします。

現在、母子父子世帯でありましたら、その医療費に対する助成制度もございます。その制度を活用しながら、またこちらのほうはその方々の相談に乗って、つなげていくようなところで、医療費の負担が及ばないようにしているところでございます。村として、特に貧困世帯としての具体的な助成金というのはございません。

○ 座間味 薫 議長 7 番玉城みちよ議員。

○ 7 番 玉城みちよ 議員 貧困世帯に特化した医療費の支援について、理解いたしました。全国で社会問題とまで取り上げられている貧困問題ですが、本村の子供たちの健やかな成長を見守る中で、経済的に苦しい、最低限の生活を維持することが厳しくなるおそれのある世帯や貧困世帯の子供たちが、病院に行きたくても連れていけない保護者、高校生が歯科に行きたくても親に言えないという、子供が医療にかかれない状況はなくすべきと考えます。村長にお伺いします。もちろん全ての子供への医療費助成拡大を望みますが、本村の厳しい限られた財源の中で、特に厳しい生活状況下に置かれた子供たちの村独自の医療費は、今後早急に拡充をする必要があると考えられますが、村長の見解をお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 7 番玉城みちよ議員の質問にお答えします。

村内の貧困の子供たちの医療費の拡充についてでありますけれども、現在小中については、歯科への通院は村負担でやっていますけれども、小中通院費までは村内はまだやっておりません。さきにほかの議員からも質問がありましたけれども、村としては小中の通院については次年度について人数、そして予算、財源含めて十分検討して実施する方向で進めていきますけれども、高校生までの歯科含めての通院については、十分検討して一步一步充実する方向で進めていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 2 時17分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 2 時19分)

7 番玉城みちよ議員。

○ 7 番 玉城みちよ 議員 生活や福祉、子育てと密着した行政サービスの向上に努めていただきたいと思います。次の質問に移ります。

質問事項 2、通学路の環境整備について。先ほどの答弁にて、ある程度は理解しました。昨今、毎日のように大人の無謀な運転により、罪のない子供たちが犠牲に合う交通事故が後を絶ちません。特に子供たちにおいては完全に守られ、安全な通学路として疑うことなく利用されていることでしょうか、本村においても安全確保の対策には十分な対応が必要と考えられます。そこでこれまで天底小学校前の横断歩道設置について、学校側から教育委員会へ要請や相談等があったのかお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質問についてご説明いたします。

ここ2、3年ということになりますが、私の記憶している限り学校からの要請等はございません。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 要請や相談等については、理解いたしました。では滋賀県大津市での県道交差点で起きた自動車衝突事故に巻き込まれた保育園児らの事故を受け、各学校機関での通学路や校外活動でのコースなど、危険な交差点、歩道などの安全点検、安全対策等の調査が実施されたのか。またその結果をお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 7番玉城みちよ議員の質問に対して説明します。

他議員からも、きのうでしたか、同じような内容だったんですが、今帰仁村としましては、3小学校、去年から中学校も行政、本部署、沖縄北部土木事務所ですね、年に1回現場踏査しております。この現場に関しましては、6月から7月の間に各小学校、中学校に建設課のほうからアンケート用紙をお配りして、学校でPTAと確認をいたしまして、写真を添付して7月末までに提出してもらって、8月に現場踏査している状況です。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 安全対策調査については理解いたしました。天底小学校においては、先月5月14日に学校で行われた交通安全教室の際に、正面向かいの横断歩道の設置について、学校から本部署へ相談があったと聞いております。本部警察署からいただいた横断歩道規制実施や設置基準を見ますと、車道幅員が5.5m以上の道路や、坂道頂上の数十メートル付近での設置規制などが細かく条件に課せられ、設置規制に該当しないようであれば横断指導線というカラー舗装をする方法も本部署からアドバイスをいただきました。今後の対策について、どのような方法が考えられるのかお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嶺井雄二建設課長。

○ 嶺井雄二 建設課長 ただいまの質問についてご説明いたします。

5月14日に天底小学校でお話があったということですが、ことしの安全協議会につきましては8月21日を予定しております。多分天底小学校から要望が出るのではないかと考えておりますので、この辺はまた現場で確認しながら横断歩道については警察署の管轄でありますので、この辺はまた警察署と、建設課のほうと委員会と調整をしながら、いい方向に検討していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質問について、追加の補足と言いますか、説明をいたします。

天底小学校については、数年前から保護者の自動車による送り迎えについては、学校側の歩道での乗り降り、特に朝ですね、おろすのも学校側の歩道側に車をとめておろすというところを、PTA、保護者に対して協力依頼を行っているところでございます。そういう観点から、横断指導線の必要性、校長先生がおっしゃっていたということでございますが、そういうこととちょっと矛盾していくところも出てくるかもしれませんので、学校側と協議を行って、関係部局と調整しながら進めていければと考えております。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 今後の対策方法については理解いたしました。

続きまして県道248号線と村道湧川運天線の交差点の信号設置については、トラックとマイクロバスの衝突事故が発生し、平成18年6月に本村議会にて信号機設置要請を行い、現在の一灯式信号機が設置されました。その後、観光客が年々増加し、レンタカーの事故や、さらに観光バスと乗用車の事故が発生し、多くの負傷者を出してしまいました。それを踏まえ、平成29年9月に我々村議会でも一灯式信号機から三灯式信号機への設置要請をした経緯があります。今後、我々議会としても再度要請をする予定ですが、地域の通学路としても利用される交差点であることから、行政としてもさらに一步踏み出した要請をしていただきたいと思いますと考えますが、村当局の見解をお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 我那覇隆文総務課長。

○我那覇隆文 総務課長 7番玉城みちよ議員の質問についてご説明をいたします。

この信号機設置につきましてですけれども、先ほど村長の答弁にもございましたとおり、平成30年4月に伊是名村、伊平屋村、それから今帰仁村の連名でということで要請を行った経緯があります。その後、平成31年、ことしに入ってから本部署のほうから、ワルミ大橋交差点の定周期式信号の設置に伴う意見照会ということでございました。その中で本部署のほうから、今、区長会のほうにということであるんですけれども、主な内容といたしましては、今帰仁村に設置されている信号機の総数を変えることなく、どこかを廃止してそれを交差点のほうに持ってくるというふうな方向で検討できないかということでの意見照会でもございました。これも先ほど村長の答弁にもございましたけれども、その結果といたしましては、やはり廃止は認められないとか、確実に信号機が設置されるということであればいたし方ないという考え方のアンケート内容もあって、その中で本部警察署としては、新設として今信号機の設置については非常に地域の理解を得るのが厳しいと捉えたということで、今後つけかえという方向ではなくて、新設の方向で再度本部署としても要請を行っていくということで回答は受けております。ただ平成31年度も沖縄県内において信号機の設置については、3基が予定されているということで、その中に今帰仁村が入ってくるのかとなると非常に厳しいものがありますね。という回答はいただいております。ただこれについては、ちょっと事故件数も去年1年間、今帰仁村内で交通事故が起きた件数としては12件あるそうで、その中でレンタカーの事故が4件ほどあったと。当該交差点においても1件の事故が、人身事故が1件それから物損事故が2件のうちレンタカーでの事故が1件ということで、どうしても事故が発生している状況はございますので、今後も要請については行っていくという方向でございます。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 今後の信号機設置要請については、理解いたしました。ことし運天港に冷凍冷蔵庫施設も完成し運用がスタートしていることから、さらに大型車両もふえ、さらなる安全対策が求められてくるものと思っておりますので、事故防止に万全な対策で取り組んでいただきたいと思います。

続きまして本村において、現在登下校の通学路の見守りとして実施されている校区があればお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 7番玉城みちよ議員の質問について説明いたします。

現在、各通学路で見守りについて実践されている箇所の把握についてなんですが、まずは役場前の十字路があります。こちらは仲宗根の向上会がかなり前から継続して行われています。あとは今帰仁小学校、兼次小学校、今帰仁中学校で登校で通学の支援を行っております。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 実施校区については、理解いたしました。ただいまの答弁で天底小学校は入ってなかったんですが、そのあたりの見守りは天底小学校は現在行われていないということですか。

○ 座間味 薫 議長 桃原秀樹学校教育課長。

○ 桃原秀樹 学校教育課長 ただいまの質問についてご説明申し上げます。

先ほど社会教育課長からございました、登校時の児童生徒の安全についての見守りということですが、天底小学校については現在把握しておりません。校長先生が、朝立っているということは伺っておりますが、見守り隊として行っているということについては把握しておりません。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 実施校区については、理解いたしました。本村においても、登下校の児童生徒の見守りは、犯罪の抑止力の観点からも保護者任せ、学校任せではなく、ぜひ地域全体で見守る強化策が必要と感じています。子育てを終え、地域の少しばかり時間にゆとりのできた世代の住民へ、地域交流もしながら見守るという、地域団体や村民への呼びかけが必要と考えるが、これまでそのような団体への要請が行われたのか。今後の安全策についてお伺いします。

○ 座間味 薫 議長 嘉陽 健社会教育課長。

○ 嘉陽 健 社会教育課長 ただいまの質問について説明します。

まず取り組みについて、要請等を行ったかということなんですが、前年度に老人クラブ大会で高齢者の方で見守りができないかということで依頼はしております。その後で、今年度、区長会においてまずはそのようなお話をして、各字でどのような取り組みができるのかという場を設けていきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 7番玉城みちよ議員。

○ 7番 玉城みちよ 議員 団体への要請については、理解しました。全国において、児童が巻き込まれる事件が起きるたびにさまざまな策が講じられてきました。登下校の防犯プランの策定や、児童生徒を極力ひとりにしないなど、対策は行っていました。それでも残念なことに痛ましい事故は後を絶ちません。本村においても、今後さらに地域関係機関や団体と連携を密にし、安心安全な通学路の確保に努めていただきたいと切に求め、私の一般質問を終わります。

○ 座間味 薫 議長 暫時休憩します。 (休憩時刻 午後2時36分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後2時50分)

次に、1番島袋 誠議員の発言を許します。1番島袋 誠議員。

○ 1番 島袋 誠 議員 令和元年第2回今帰仁村議会定例会、このジメジメ感を吹っ飛ばす、すっきりとした一般質問を行います。

質問事項1、村有財産売却の状況について。質問要旨、過去5年間の村有財産売却の件数・金額をお伺

いたします。

質問事項 2、学校跡地利用について。質問要旨 1、旧兼次中・旧今帰仁中・旧湧川小中学校のこれまでの利活用・今後の利活用計画についてお伺いします。2、それぞれの建築物が耐震基準・防火基準を満たしているかお伺いいたします。

質問事項 3、旧梯梧荘跡地における宿泊施設建設について。質問要旨、1 月 28 日の臨時会において落札者が決まったが、その後の動向についてお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 1 番島袋 誠議員の質問事項 1、村有財産売却の状況についてお答えします。

質問要旨の過去 5 年間の村有財産売却件数・金額については、企画財政課・建設課・学校教育課所管財産が該当します。売却件数及び金額は、平成 26 年度 2 件 185 万円、平成 27 年度 4 件 1,589 万 1,000 円。平成 28 年度ゼロ件、平成 29 年度 2 件 1,427 万 7,000 円、平成 30 年度 5 件 4 億 867 万 5,000 円で、合計 13 件 4 億 4,069 万 3,000 円となっています。

質問事項 2、学校跡地利用についてお答えします。質問要旨 1、旧学校の利活用・今後の利活用計画については、旧兼次中は福祉事業所、学童保育事業所、蚕の生産事業所、染め織物事業所の体験場として 4 事業者が使用しております。旧今帰仁中学校は、レスリングクラブ練習場、シイタケ生産の事業者、就労支援事業を行う福祉事業所の 3 団体と村社協事務所、村営図書館として使用されています。旧湧川小中は、農業生産法人（有）あいあいファームが加工施設、レストラン、宿泊施設として利用しています。今後の利用としましては、旧兼次中の 4 事業所と旧今帰仁中の 3 団体につきましては、平成 33 年（令和 3 年）3 月末までの貸し付け契約となっています。旧湧川中の（有）あいあいファームは、平成 38 年（令和 8 年）3 月末までの契約となっております。

質問要旨 2、耐震基準・防火基準については、旧兼次中 4 棟、旧今帰仁中に 3 棟、旧湧川小中に 7 棟の昭和 56 年度以前の旧耐震基準設計の建物があり、昭和 57 年以後、新耐震基準の校舎は兼次中 1 棟、今帰仁中 2 棟、湧川小中 2 棟となっています。防火基準については、旧兼次中、旧今帰仁中とも平成 26 年度に本部町今帰仁村消防組合の立ち入り検査を受け、改善計画書の提出を求められ、同計画書を提出しました。その後、点検を継続しましたが、全ての不備事項を改善することができず、平成 29 年 5 月に改善計画を再度提出しています。

質問事項 3、旧梯梧荘跡地における宿泊施設建設についてお答えします。質問要旨の臨時会後の動向については、議会の可決によって契約書の効力が生じ、契約金の納付を平成 31 年 2 月 28 日までとしました。平成 31 年 2 月 28 日に入金を確認し、登記に係る手続きを行い、平成 31 年 4 月 19 日に所有権移転登記を完了しました。現在、落札業者から事業実施計画の調整中との説明を受けています。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 では質問事項 1 の村有財産売却についてから、改めてお伺いいたします。これ過去 5 年の件数と金額のほうをお伺いいたしましたが、こちら公有財産運用委員会で検討して決まって売り払いになると認識しておりますが、過去 5 年をさかのぼるのは難しいと思いますが、例えば去年ですね、平成 30 年度 5 件で計 4 億 867 万 5,000 円、金額は多いのですが、そのうち 2 件は古宇利の土地 1 億

1,000万円余りと、あと梯梧荘跡地の2億8,888万円というふうに理解しているので、残りの3件で900万円ぐらいかなというふうには思うんですが。去年に限ってでこちらはいいので、5件以外にも検討したかどうかですね、その公有財産運用委員会等でやったかどうかお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 1番島袋 誠議員の質問について説明いたします。

平成30年度の公有財産運用委員会での検討事項で、この5件の実績以外に検討があったかということでございますが、平成30年度から現在まで、令和元年度に入っておりますが、継続して検討した物件がございます。そちらのほうは3件でございます。仲宗根地区の分譲地と、あと2件は古宇利地内でございますが、そちらのほうも検討が入って3件継続的に検討している状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 1番島袋 誠議員。

○ 1番 島袋 誠 議員 継続ということで、平成30年度から引き続きあったということの説明だと理解いたしました。こちらですね、今継続になったということでありましたが、やはり委員会ではある意味手放すことになるわけですね、村有財産、村の財産です。そこについて根拠とか、目的とか、明確な根拠が出たら売るという感じの、売却するときの理由ですね、そういうふうなものが話し合われるかどうかですね、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

継続しての審議内容の確認かと思っておりますので、そちらのほうを説明いたします。3件のうち1件につきましては、仲宗根地区の分譲地でございますので、長年の懸案事項であった、募集をかけてやっと買い手が見つかったということで、今最終的に契約も交わして事業の実施を待っている状況でございます。またほか2件につきましては1件が入札方式で募集をかけたもの、それからもう1件のほうは随意契約による1件でございます。

○ 座間味 薫 議長 1番島袋 誠議員。

○ 1番 島袋 誠 議員 今の経緯はお伺いいたしまして、次ですね、ちょっと聞きたかったこと課長のほうでもあったんですが。その売却のやり方ですね、入札があったり価格、その近隣の土地を鑑定価格と言うんですかね、そういうのを査定して、それに基づいて売る価格のやり方があると思いますが、その入札にするか、従来どおりが査定価格でやっていたと思うんですが、そこについては公有財産運用委員会のほうでどっちにやるかというのを決めるわけですか、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

村有地公有財産でございますが、普通財産に限っての説明になりますが、その取り扱いについて処分するかどうかにつきましては、全ての事案について今帰仁村公有財産管理運用委員会に諮って方針を決めた上で、最終的に村長まで答申をして売却を進めるのは進めると、しないものはしないということで方針づけております。

○ 座間味 薫 議長 1番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 流れは理解いたしました。今、入札かどっちかという話もしたのですが。答えられる範囲で構いませんので、その13件のうち入札というのは何件か答弁求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

平成26年度からの実績の中の13件のうち、4件が入札物件でございました。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 4件が入札ということで、その入札になった理由というのがあればお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

一番入札事案で、平成27年度には郵便局跡地の、土地建物付きの物件を入札で実施しております。それから、これまでの村有地の売り払いについては、ほとんどが随意契約でございました。と言うのは、村有地に対して背後地の所有者が住宅の入り口に使いたいとか、その所有地と合わせて家を建てるためにどうしても面積が足りないという理由等から、随契をお願いされて、そういった物件について審議をして売り払っていいだろうという結論になった中では、また随意契約をやってきた経緯があります。その中で、また物件の件数が古宇利島に集中してきた、字1カ所に集中してきたということもあって、村外から、例えば県外からもそういう申し出があったという状況もあって、これまで随契をやってきた中では、また古宇利に家をつくりたくてもつくりにくくなってきたということで、村内居住、もしくは古宇利地内に居住している方ということで、随契を認めてきた経緯もございますが、その中でまた特定の方が入札と言いますか、村有財産の売り払いを申し込んでくるという傾向も出てきましたので、処分をするのであれば村有財産の有効活用の観点から入札にすることが妥当ではないかという話し合いのもとで、入札をできるところについては入札をしていくということで考えているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 大体の内容ですね、随意契約になっても、そういう経緯ですね、もともとの村内居住もしくは古宇利島に居住の住民というのがちょっと見えてきました。今、また話もありました、要望は結構村有地、売却してほしいという要望があつてなのか、それともこちらですね、みずから村有地買いませんかというふうに出していつているのか、その両方ですね。どっちが多いかというか、要望が出てその検討委員会を開くか、もしくは村のほうで話し合つて、そこを売りましょうというふうに持つていつているのか。その2つのうち、2つともあればあるで、そういう例があるということでもいいですし、どっちの売り方をやっているかお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

村有地の売り払いにつきましては、これまで個人からの申し出であつたり、区からの要請であつたりするところによる検討が主でありました。その相談というのが結構多くなってきましたので、古宇利島に限っての件数が多くなっているのですが、それを一つ一つ全て対応するには、村有地の適正な管理か

らしても個別に検討するのではなくて、村有地として処分が適当なのかどうかということも含めて、区域分け等を考えながら順次処分できるものは処分するという方向に転換をしているところでございます。今後は役場主体と言いますか、ある程度地区を決めて村有地処分できるものと考えていくということになってくるかと考えております。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 では今の説明では、これまでは要望があつて、どここの土地を買いたいと言うのでやっていた。これからの計画というか展望としては、村である程度地区とかをまとめて、この村有地は売り払いにかけようかという方向性になっていくというふうに認識してよろしいですか、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

村有地の売り払いについては、ご質問のとおりある程度絞った形にしていきます。ただ普通財産であっても、例えば村有地であっても中には拝所であるとか、文化財が包含されている土地とか、そういった制約を受けるところとかがございますので、そういったものも含めて保全すべきところは保全するという、確認した上で区域やその場所を決めていくという方針となっております。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 古宇利島に限って要望もたくさんあつて、個々にやるということでまとめて売ったりということも考えているということであるんですが、これ少しでも同じ土地、例えば1坪3万円の土地になるか、入札にかけると6万円になるかもしれないんですが、そのリスクとして、例えば村が村の事業をしたくて、道路購入をする、村道とかをつくる際用地交渉やと思うんですが、この進め方をすると、それが進みにくくなるんじゃないかというふうにちょっと懸念されますが、その点についての見解がありますか、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後3時09分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後3時09分)

田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

入札等の売り払いによる価格の上昇を懸念されての質問かと思いますが、村が例えば道路用地を購入する場合は、鑑定価格でもって用地交渉をしていきます。また村有地を売り払いするときは、直接の鑑定価格もしくは近いところに基準地となるものがあればそれを準用しての価格設定となっていきますが、そのときには最低価格として村有地の入札にかけてまいります。なので必要な方は、多少それに対して価格を上乗せするかもしれませんが、あくまでも村としては最低価格は基準地として捉えておりますので、それが一概に土地の高騰につながるものだというふうには考えておりません。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 今、課長が考えているようになると、こっちの理想ではあるんですが、やはり売る側になると、仕方なく売らないといけないという感じで、やはりどうしても心情的にこうもう

ちょっと上がらないかなという考えも出てしまうのかなと懸念されますが、今後村のいろいろこれから施設をつくったり、道路をつくったりあって、個人有地も絡む件も多いと思いますので、その点、もう一度協議をして慎重にできないかなというふうに考えております。その点について、また課長でもいいですし、村長でもいいですし、今の流れでいいのかどうかですね、また考える必要があるかどうか答弁求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

村有地の入札等の売り払いに関しては、10年間の転売禁止の特約をつけていきます。それによって実際に土地を使う人が求めるものだと理解しておりますので、村有地の払い下げを受けて、それを転売して短期の譲渡取得にはつながらないものだと理解しております。また村有地、村道等の事業での整備につきましては、その用買にかかる、部分的につぶれる場合なんです、その残地のほうが受益を受ける形に、事業を導入することによって価値が高まるということも踏まえて地権者に細かく説明していけば、用地買収もできてくるものではないかというふうに考えております。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 村有地の今後の展望の売り方として、古宇利地区に限ってというふうにおっしゃっていましたが、そういうふうにまとめて売ったりするということで、まさしく古宇利一周線の用地買収が喫緊の課題になってくると思いますので、ぜひこの一周線が進むように近隣の住民とうまく調整し、説明しながら、また村有財産はやはり村民の財産ですので、しっかりと協議して、また振り返りも行って調整していってもらいたいです。

続きまして学校跡地利用についてお伺いいたします、質問事項2です。村長の説明で、この旧兼次中学校が4団体ですか、旧今帰仁中のほうが3つと、あと社協と村立図書館ということですね、あと旧湧川小中があいあいファームというふうにあります、今説明した中に体育館、旧湧川小中学校は全てあいあいファームが管理だと思うんですが、体育館のほうはどちらか事業所がやったり、何か利用しているかどうかお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

西側から行きますと旧兼次中の体育館につきましては、桜まつりや古宇利マラソン等の資材などが保管されておりまして、村が利用している状況でございます。それから旧今帰仁中学校の体育館につきましては、村内の事業所に土地と建物を売却しておりますので、旧学校としては、体育館としましては旧湧川小中の体育館と旧兼次中学校の体育館が残っている状況でございます。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 今、さらっと流そうと思ったんですが、中学校の体育館を貸しているのかなと認識していたんですが、売却ということで、旧今帰仁中ですね。例えばこの5年間の中に入っているかどうか、その前かどうか、ちょっとずれますが答弁求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

平成26年度以前だというふうに覚えておりますが、今回の13件の中には含まれておりません。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 体育館のほうは理解いたしました。話をまた戻しまして、この4つの、旧兼次中の4団体と、ではこの体育館はもう売却して渡っているということで3団体ですね、ありますが、そこに今後の利用として令和3年3月までの貸し付け契約となっているとあります。そちらに4つ団体、3つの団体、合わせて7団体ですね。もう説明済みだとは思いますが、いつごろ説明したか。または同じ契約年数ですので、まとめて一度に開いたか、個々に説明したかですね、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

旧兼次中学校と旧今帰仁中学校に入所しています事業所につきましては昨年度、すみません日付のほうはちょっと資料がないので説明できないのですが、昨年度に通知と、それと個別に会って説明をしているところです。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 契約どおりに令和3年の3月までというふうになっていますので、通知ということであると思うんですが、こちらとしては今言った7つの団体には、今後継続できないというふうな説明になりますか、答弁求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

入所している事業所につきましては、建築年の古いところとそうでないところもございしますが、その前に消防法の適用の中で整備すべきものが全てクリアできていないという状況がございしますので、村としてその事業費を検討した中ではそれ以上整備する予算を捻出できないという考えのもと、平成33年までということをお願いをしているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後3時19分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後3時23分)

1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 耐震の基準とか消防法とかで令和3年の段階で7事業所は終了というふうに理解いたしました。では終了というところで、計画しているということではありますが、例えば旧兼次中の4事業所がある建物とその旧今帰仁中にある3団体の建物の跡地利用について、今の説明だと建物は利用して、あとの利用は考えていないというふうに思っておりますが、例えば更地にして何かに利用するとか、そういう計画があるかどうかお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

ご質問のとおり、入所している7団体がございしますので、今現在としては令和3年3月までということをお願いしている状況でございします。その後、その建物の老朽化もあることから、そのまま使うことは厳

しいと考えておりますので、整地もしくはその後の事業計画は今後検討していく状況になります。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 やはり建物は使えなくて、更地にして後から計画というかやっていくとありますが、この通知して説明した段階で、その7団体全て納得というか、契約上10年ということ縛っていますので、契約上はなっていると思うんですが、継続したいというふうな声とかないかどうか。例えばみずから補修工事もやるから継続したいとか。3番の與那嶺 透議員のときもちょっと触れてはありましたが、数千万円かかるから村のほうでは考えていないということでありましたが、もしこの事業所のほうがそのまま継続をしたいということであって、自己資金でもやりたいという提案等なかったかどうかです、それだと可能かどうかお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

7事業所のうち継続していただきたいと調整しているのが1事業所、できれば4、5年は継続してもらいたいという、今現在から4、5年ですね、していただきたいと。できれば継続したいが、とりあえず平成33年まではということで、オッケーですよと言っているところも3事業所ございます。旧兼次中にあります福祉事業所でございますが、そちらのほうは設備投資に資金が投入されていること等ございますが、ただ一番気になる建築年の古いのがこの建物でございますので、耐震基準としては満たされていない状況で村が貸しているという形になっておりますので、できれば平成33年までの契約として、その後移設、またはほかの場所に移動も考えられませんかという相談をしている最中でございます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後3時27分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後3時27分)

1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 今1カ所は設備投資を多くやっていて、できればやりたいが、昭和33年の建物なので、村としてはという説明ではありましたが、こちら設備投資にはその事業所が幾らぐらいかけたかどうかということは話し合われたことはありますか、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 直接お会いしてお話をしましたけれども、相当の資金というふうに説明を受けましたが、具体的に何百万円というそういう金額の提示はございませんでした。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 今ちょっと消防法のことを言ったりはしているんですが、私が聞いた話によると、こちらのこの福祉施設ですね、平成28年に補助率はちょっと伺っていませんが、自己資金300万円ほど導入して、村補助ではないと思うんですが、県か国が相当な金額を使って、合計1,200万円というふうに聞いてはいるんですが、今言っている昭和33年の一番古いほうのところにスプリンクラーを設置したというふうに伺っています。これですね、平成28年で間違いないかどうか、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

質問の福祉法人につきましては、平成22年から入所しておりますが、消防設備の導入については何年度に幾らという具体的な説明を受けていない状況でございます。話し合いの中では、平成28年度にそういう整備したという説明はございませんでした。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 3 時31分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 3 時36分)

宮里政有福祉保健課長。

○ 宮里政有 福祉保健課長 平成27年度の地域介護福祉空間整備等事業施設整備交付金による事業を導入してございます。追加になりますけれども、こちらのほう事業費で570万円で、補助金が206万4,000円になっております。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 3 時38分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 3 時39分)

1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 その当時は平成33年3月までというふうにその事業所も認識していたと思うんですが、平成27年に交付金を使って570万円ぐらいの事業でスプリンクラーを設置、自己資金を360万円使っているということであるんですが、残り5年、6年ですね、それにスプリンクラーを設置するのかなというふうに、ちょっと普通の感覚だと疑問が生じるというか、私だったら残り5年にかかるのかなというふうに思うんですが。その当時に例えば継続とか、設置するからあと5年、あと10年とかという話になっていないのかなと、ちょっと思ってしまうんですが。そのような話は、その当時の担当とかになってくるとは思うんですが、なかったかどうかですね、わかる範囲でいいので答弁求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

その設備投資、当時の消防法の点検と言いますか、指導等の前後がちょっとこちらのほうでは把握できていませんが、その当時に消防法の適用をされていないとわかっていれば、そういう整備もされていなかった可能性はあるものかと考えます。それからすると、消防法の指摘があることが村でも事業者でもわからなくて、設備の整備がされている可能性が高いと考えます。

○ 座間味 薫 議長 休憩します。 (休憩時刻 午後 3 時41分)

○ 座間味 薫 議長 再開します。 (再開時刻 午後 3 時41分)

1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 今、平成27年時点では、平成33年、年度的には平成32年度で、5年後には出るという感覚じゃなかったんじゃないかというふうに認識していたのかなとありましたが、まさしくそうだと思うんですね、普通に考えると。ですので継続を、書面上はもちろん10年というふうに、書面上残っていると思うので契約上はなっていると思うんですが、ここら辺がちょっと腑に落ちないんですね。残り5年でこうして交付金も使って206万円も入っていますし、この5年で終わるわけですね、利用できなくなって後は更地になるなり、取り壊しになるなり、昭和33年の建物ですから。そのほうがちょっと疑問に思うんですが。今その当時の担当がいるわけではないので、お答えできないかと思うんですが、これで

ね、またおいおい当局も調べてもらって、きょうはこれ以上お答えできないと思いますので終わりますが、この認識だと平成33年に、契約上は10年だから出て行きなさいと言うのは、ちょっと酷なのかなというふうに感じております。その見解についてお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

この消防法の適用を受けての設備の整備が必要だということと、それと建築年が古いということの旧耐震であるという状況からしますと、そんなに長くも、現状のままでは長くも使えない建物であると理解しておりますので、旧兼次中学校、旧今帰仁中学校とも跡利用については、そのことを踏まえて検討していきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 そう古い建物だから使えないと思っているはずとやっても、やはり5年前にこれだけの金額を設備投資しているというのは事実ですので、またこれは調査して今後やっていきたいと考えております。

続いて最後の旧梯梧荘跡地における宿泊施設建設についてお伺いいたします。こちら最初に議会に上がったのが11月19日、そして延会になりまして12月3日。1月28日に議決がなされまして、今の経緯に至っておりますが、この議会の議決事項なので、その件についてはどうのこうの言うつもりもありませんが、今の現状として現在落札者から事業計画の調整中との説明を受けています。とあります。こちらは議決したのが1月28日で結構期間がありますので、頻繁に連絡をとってやっているのか。調整中との説明を受けています。とありますので、いつその説明を受けたのかお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

1月の議決後に登記の手続で、登記が完了したのが4月19日でございました。その後、所有権移転を確認した、その後の事業者の動きとしましては、運天地内に事務所を構えておりましたが、また事務所を上運天のほうに移動するという説明を受けています。その説明を受けたのが5月終わりごろでございました。また現在の開発計画と言いますか、ホテル事業等の進捗状況について確認しているところでございますが、先週の金曜日に直接副村長も立ち会っていただいておりますところでございます。その中では、現在の建物の取り壊しを進める中で、コンサルタントと調整をしているという説明を受けております。先週の金曜日です。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 先週の金曜日に今あった説明を受けたとありましたが、このときに直接お会いして説明ということでありましたが、この1月28日後に何回会ったか、わかれば説明を求めます。何回こういうふうに直接会って話をしたかどうかですね、協議したかどうか説明を求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 直接の協議と言いますか、対面しての内容確認につきましては、先週の金曜日でございます。1月の末、28日に議決をしました後に、入札補償金以外の入札金を月末と言いますか、

2月28日までに入金をお願いして、2月28日に入金を確認しました。その後に登記手續をするために、土地が24筆と建物が2棟と附属建物が3棟ございまして、その建物と土地についてのそれぞれ登記をするときに評価額が必要になりますので、そちらのほうを住民課のほうと調整をしまして、証明をいただいたところでございます。ただ梯梧荘の入り口の村道整備事業に関係しまして、潰れ地の測量までは済んでいたんですが、分筆登記が行われていなかったため、その分筆登記を待つために、最終的な登記が4月19日になってしまったという状況でございますので、その後の事業者の動きとなっておりますが、5月に連絡を取りまして、最初の電話での確認をしているところでございます。

○ 座間味 薫 議長 1番島袋 誠議員。

○ 1番 島袋 誠 議員 では直接お会いして話をしたのは、1回と認識いたしました。電話等では連絡をとっていたということではあります。こちらですね、この議決のときの説明で、入札にした際の理由というのが、今までプロポーザルの事業が進まなかったから、早く、速やかにホテル事業に移行しやすくなるのが入札方式であるということで、この入札方式でやったというふうに聞いております。その時の会社の概要が、例えば広告代理店であったりインターネットホームページの企画制作、コンピュータソフトウェアの開発等、あと飲食店、自動車販売、砂利販売・採取、コンサルティング業とかいろいろありましたが、実際にこの運天の公民館の後ろに事業所がありまして、5月の末には上運天に引っ越ししたということでありましたが、実際にその間、この会社はそういうような当初予定していた業務を行っていたかどうか、把握しているかどうか、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

運天のほうに住所を移しての登記がなされておりましたが、この議会での可決の後、村内で事業の調整をするというふうには確認はしておりません。

○ 座間味 薫 議長 1番島袋 誠議員。

○ 1番 島袋 誠 議員 いろいろこの議会のときには、今帰仁村といろいろ協力してやる、地元事業所を置くということであって、運天に置いたということではありますが、今の説明だと運天のほうでは実際的な業務というか、そういうのは行っていないということでした。字運天も、普通こういう会社が来ましたら、いろいろ字費なりこういうのをやったりすると思うんですが、そのほうですね、関係ないと言えば関係ないんですが、字との業者とのかかわりというふうな面で、例えばなっていたかどうかですね、もしわかればでよろしいですので答弁求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

本社の登記としましては、運天のほうに移してございましたが、現在また上運天のほうに事務所を移すということで、先に看板がかけかえられております。運天、上運天とも字との説明と言いますか、アプローチがどのようになっているかは把握しておりません。

○ 座間味 薫 議長 1番島袋 誠議員。

○ 1番 島袋 誠 議員 村のほうはちょっとわからないということではありますが、議決する際にです

ね、これは村長の言葉ではありますが、「議会の承認がいただけたら早速TONYカンパニーの代表、そしてまた高橋ホールディングスの責任者に直接お会いして、この事業を計画どおりにできるよう村長としても最大限努力をして、村民の期待に応えられるような計画にしていきたい」とあります。議決してすぐに、まずこのTONYカンパニーの代表、あと協力と言うか、後ろ盾すると言われたこの高橋ホールディングスの責任者にお会いしたかどうかお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 喜屋武治樹村長。

○ 喜屋武治樹 村長 1番島袋 誠議員の質問にお答えします。

先ほど担当課長から説明がありましたけれども、現段階では高橋ホールディングスの代表に会っておりません。去る先週の金曜日に関係者が見えて、旧梯梧荘の解体に向けて進めているということでございます。村への事業計画としては、高橋ホールディングスとの協定書も出ておりましたけれども、再度、この解体を具体的にいつぐらいまでに終わるのか、そしていつごろまでに具体的に作業を進めていくのか、再度話をして、協定書どおり高橋ホールディングスにこの解体後、この事業計画をやってもらえるのかどうか確認した上で、早目に事業ができるように取り組んでいきたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 1番島袋 誠議員。

○ 1番 島袋 誠 議員 私の認識としては1月28日議決をして、2月28日に入金したら、すぐに動いてくれるのかなと期待していたので。これで見ると4月19日に全てが完了したとあります。それから約2カ月なので、わかる部分もあるし、わからない部分もあるんですが、改めてもう一度、座間味邦昭議員の質問にお答えしている村長の答弁ですが、再度また答弁求めますということで、「今回の議案については、村民またマスコミにも報道されて、かなり注目されている議案であります。TONYカンパニー、高橋ホールディングスも含めて議決されましたら早速行動して、この事業に一日も早く着手して、村の観光、発展、産業、雇用の拡大、発展につなげられるように、モデル的な事業として成功できるよう村長としても最大限努力する決意であります」と大きな決意をしているわけですね。ですので、今言ったのがちょっとトーンダウンしてしまうんじゃないのかなと思うのですが、これからやるのかですね。今4月19日に全て終了して、4月19日と言ってももう2カ月、まだ2カ月と言うかもしれないですが、もう2カ月たっています。これからすぐにこの代表者に会いに、例えばこっちから行くのか、こっちに来るのか。じゃあ現地も見えないのかなというふうにちょっと思うんですが。その点についてですね、最大限努力するとありますので、どのようにしていくのか、お伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 謝花良竹副村長。

○ 謝花良竹 副村長 私のほうからちょっとお答えします。

企画財政課長と私と直接お会いして、初めてのことであったんですけども、相手方からの話であると、その建物の取り壊し等ですね、PCBとか入っているのがあるのかなと、今調査中でそれがちょっと時間がかかっていると。また県内の事業所と言うんですか、取り壊しする企業との調整もちょっとおこなっているということで、終始一貫としてやってはいるんですけども、いろいろな調整がともなっているということの回答があって、こちらからの要望としては、担当課と連絡を密にして進捗状況を、何かの動きがあった場合は遅滞なく報告するようというということで、こちらの要望も出して、相手方は終始今の状況

の説明だけに終わっていました。高橋ホールディングスとのところも、そこも相手方はちょっと高橋ホールディングスのほうが忙しくて、事業計画とか、そういった計画のほうもちょっと遅滞気味だということのお答えでした。こちらから議員がおっしゃるとおり、相手からの連絡を待つのではなくて、こちらからも連絡はやっているところだったんですけれども、連絡をうまくやって、連絡を密にしながら状況をどんどん進めていくように、こちらも努力していきます。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 我々としては、本当に一日も早く動くことで、そういう入札にした経緯というのは、プロポーザル式にしていたのを少しでも早く動かすためにそうなったと思っていますので、議決になった以上は、速やかにできるようにいろいろ調整してもらって、やってもらいたいです。先ほど村有地売却の、村有財産売却のほうにあった古宇利の土地のほうですが、こちらは8月に上程があつて議決になって、やがて1年ですか。建築の設計は済んで、あとは業者との調整ということで、調整というのはそれぐらいになっての調整になると思うんですね。今の調整というのを聞くと、未定なのかなというふうに感じてしまいますので。例えば今の現状の状態も含めてみましても、今の現状ですね、ずっと管理がされていない状況でありますので、その点も踏まえて、これから害虫が発生したり、ヘビ等もありますので、近隣のほうもいろいろ心配しておりますので、しっかりやっていただきたいと思います。そこで最後になりますが、こちらにも、1月28日にもありましたが、与那嶺区と業者に任せるのではなくて、村が間に入って積極的にいろいろ協定書を結ぶように協力するというものでありました。与那嶺区のほうに議決して終わった後、説明に行ったかどうかお伺いいたします。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

直接与那嶺区に伺っての説明はしておりませんが、毎月区長会がございまして、与那嶺の区長が課のほうを通るときに、梯梧荘の状況を説明した覚えがございしますが、それが何月何日だったかは、ちょっと記憶がございません。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 これだけ大きな案件で、売る前には、その入札にかける前には与那嶺区に丁寧な説明をして、そういうふうな経緯で入札方式ということでやっているんですね。この議会の際にも与那嶺区とやるということでうたっていますので、しっかりですね、もちろん今帰仁村民に知らせることも大事ですが、一番近くの与那嶺区民に説明していただきたいんですが、それについて答弁求めます。

○ 座間味 薫 議長 田港朝津企画財政課長。

○ 田港朝津 企画財政課長 ただいまの質問について説明いたします。

先週の面談と言いますか、事業者からの説明の中では今年度内に取り壊しを行いたいという趣旨の説明がございました。その中には、アスベストの調査が必要だということで、県内でこのアスベスト調査を行う業者との調整をやっていききたいけれども、まだ見つかっていないという説明でもありました。具体的には字のほうへの説明につきましては、ある程度事業の展望と言いますか、形的なものが、アウトラインだけでも、概略だけでも整った中では説明できるかなと思いますが。まず事業者と日程調整を行って、T O

NYカンパニーの事業者と字の区長との紹介を兼ねて、村が橋渡しの説明をするところも必要だと思いますので、まずは字のほうに紹介をしたいと考えております。

○ 座間味 薫 議長 1 番島袋 誠議員。

○ 1 番 島袋 誠 議員 今、アスベスト等もありましたが、我々でも11月の段階でもうわかっていたんですね。県内に業者が、これを処理できるところがないことをです。これはわかっている、しかも議決もおくれたわけですから、すぐに準備してできるんじゃないかというふうに本当に思っていたんですが、やはりこういうプロポーザル方式から入札に変えて、一日でも早く村有地を動かすということでありますので、そことしっかり連携をとってもらって、しっかりしたホテル運営、観光業ができるよう村当局としても最大限努力してもらってほしいと思っております。

○ 座間味 薫 議長 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日は、これで散会いたします。

(散会時刻 午後 4 時05分)